

若き附中

熊本大学教育学部
附属中学校
学校だより
第2号
文責〈高木〉

オンライン授業始まる

今回の「若き附中」は、ネット配信するということを前提に、初めて、パソコンでの作成となりました。人間、何事もやればできるといふこととです。

前回の学校だよりの配信後、さっそく投稿をしていたいただきましたので紹介させていただきます。

一年一組 後藤くんからの投稿です。

自分は、遠隔授業でも先生がいろいろな工夫をしてくださり、映像などを使って先生が分かりやすく説明してくださるのでとても受けやすいと思います。

このような投稿をもらおうと、先生方も元気が出ます。ありがとうございます。(高木)



二年三組 落合くんからの投稿です。

本来であれば、みんなが学校に来て体育大会に向けて練習しているはずの時期。日常はいつ戻って来るのでしょうか。

しかし、自然は例年のごとくやって来ています。たとえば、僕の家の近くでは既にツバメが巣を作っています。こんなときだからこそ、自然を観察してみるのもいいかもしれません。ところで皆さんは、どのように生活していますか？おそらく退屈だと感じている人が多いと思います。友達に会えたらどれだけ嬉しいか、と僕も思います。今、家でしっかり勉強したり、筋トレを毎日実践したり、と努

力するとより友達にあう嬉しさは大きくなるのではないのでしょうか？だからこそ、今は家で自分で充実した時間を過ごそうではありませんか。そして、また元気に笑顔で会いましょう。

最後にインド独立の父ガンジーの言葉を送ります。「喜びとは、勝利それ自体になく、途中の戦い、努力、苦闘の中にある。」

ガンジーの言葉、力になります。(高木)

三年三組 城くんからの投稿です。

今日も新型コロナウイルスの感染者が増えている。僕は一日じゅう家にいる。

遠隔授業が始まって何日経ったのだろうか。チャットの使い方は？自分の名前に丸をつける方法は？何だか自分の名前がおかしいぞ！ああ！本来、名前を書く欄にパスワードを入力していたんだ。このように最初に ZOOM を使ったときは何をどうすれば良いのだろうか、とあたふたしていた。なので、遠隔授業が終わるととても疲れていたのを覚えている。しかし、今となってはそれはもう、昔の話。何の問題も無く、みんなと授業を受けている。もちろん、教室にいるわけではないので

違和感があるが、みんなが元氣だと知るとホッとする。今日も新型コロナウイルスの感染者が増えている。僕は一日じゅう家にいる。未だに先が見えない世の中だが、目をそむけずに、今、自分で出来ることを少しでも多くやっていきたい。

みんなが元氣だと知るとホッとする。遠隔授業は、教科の学習だけでなく、みんなと会えるということにも意味があるのです。(高木)

一年生 保護者様からの投稿です。

中学生活がオンライン授業から始まり不安もあったが、子どもから「中学の授業、楽しい」との言葉があり少し安心できました。先生方や友人たちと画面上ではあるが、一緒に授業を受けて過ごしている感覚もあります。学校が始まるまで自宅で頑張りたいです。

二年生 保護者様からの投稿です。

まさかの状況に、先生方もお疲れでは？そんな中、各家庭へのご配慮お氣遣いに感謝いたします。まあ、今の世の中、一筋縄ではいかんところも多いと思いますが、この状

況ですから、出来る範囲です。みんな学校のありがたさを、心の底から感じていると思います！

二年生 保護者様からの投稿です。

「辛い経験こそ力」改めて学校のありがたさ、大切さを感じる日々。「学校に行きたい」「部活をしたい」という、子供たちにとってもストレスのかかる日々。思い出す、熊本地震の時の、日常を奪われた時間。しかしあの時と同じように、子供たちと向き合える時間が増え、対話することが出来る。

休校が始まって、人の少ない早朝に毎朝散歩。何気ない会話を楽しんだり、今後の話をしたり、ストレッチしたり。物事が思い通りにいかず、目に見えないストレスを感じている時だからこそ、いろんな形でコミュニケーションをとることが、大切だと思う。この辛い経験こそが、熊本地震同様に、子供の将来にとってプラスになると信じ、家族でしっかりと向き合って、乗り越えていきたいと思う。

保護者も含めたくさんの投稿をありがとうございます。投稿は、今後も受け付けます。お知らせしたアドレスにお願います。

※ たとえデジタルになったとしても、新型コロナに負けず、この欄外のコメントは残して欲しいという要望があるのでないかと期待しています。